

事業名

2022年度 At-Kyotoベビー&キッズ用品交換を軸とした地域ピアサポート事業

実施
団体



At-Kyoto

はじめに

令和3年度から取り組んできた事業の2年目。
 今の子育て世代が抱える課題や、孤立に働きかけることを目的として、2箇所のそれぞれ異なる環境にある場を拠点に、季節のテーマに沿ったベビー&キッズ用品の交換会を定期的に開催。前年度に見えてきた課題を踏まえ、それぞれの場の特徴を生かした、自立的かつ継続的な場にしていくことを目指しました。また、At-Kyotoの活動の軸である、ダウン症をはじめとするスペシャルニーズのある子育てのピアサポートと、そこに繋がる取り組みも同時に進めました。地域の中の身近な拠り所として、情報ステーションとしての機能やサポート機能を持つ場の立ち上げに向け動き始めました。

実施内容

- ①相談支援事業所しほふぁーれを会場とする交換会
4月～3月、毎月第1火曜日10～12時、計12回実施。
約350世帯が利用
- ②小児用補装具専門ゆめ工房を会場とする常設型交換会
10月～3月、主に月・水曜日10～12時、計45回実施。
約500世帯が利用
- ③上京区以外での出張交換会の実施
左京西部高齢者ふれあいサロン。6月～3月、毎月第3土曜日、計10回実施。約350世帯が利用
あいあい助産院（北区）2回、左京東部高齢者ふれあいサロン、天理教赤心分教会（中京区）、一条寺公園（左京区）、市原野会館（左京区）それぞれ1回。約50世帯が利用
- ④LINE公式アカウントを活用した、情報提供と個別対応（※訪問含む）
利用世帯数約470名、送信メッセージ数約90,000通、個別対応220世帯、訪問対応約60件



LINE公式アカウント

活動の成果



●相談支援事業所しほふぁーれ交換会
 2年間の取り組みを経て、令和5年度より出水区民生児童協議会の主催事業へ。主任児童委員を中心に運営することもサロンとして、引き続き毎月第一火曜日に開催。継続の体制が整いました。



●自分の地域でも交換会を、そんな相談を受けることが増えました。結果、元待賢小学校では、主任児童委員を中心とした地域の有志によって、2ヶ月に1回第4土曜日に。左京西部高齢者ふれあいサロンでは毎月第3土曜日に、継続的に交換会が開催されることになりました。



●小児用補装具専門ゆめ工房交換会
 ゆめ工房の新工房への移転のタイミングで旧工房を活動場所として提供いただき、常設型の交換会が実現。その後、ゆめ工房とAt-Kyotoの協力体制が整い、スペシャルニーズのサポートステーション”すべさぼ”が立ち上がりました。障害のある子育てや子どもたちを支える地域のハブとなる場として、ピアサポートの場として、出来る事から動きだしています。



●交換会に合わせて、At-Kyotoで続けてきたダンスワークショップや親子ストレッチ、新たに乳幼児を対象とした美術WSなどの企画を組み込み、ランチタイムを挟んでゆっくりと過ごす場の提供、親子ともに心地よく過ごせる時間をつくっています。それぞれが自然なかたちでゆるやかに繋がりを深め、視野を広げるきっかけになる場が生まれつつあります。



秋頃から、妊婦さんの利用が一気に増えはじめ、産まれる前から、1人目妊娠中から繋がる場としての機能が加わってきました。交換会運営に関わるメンバーが主任児童委員（民生児童委員）という事もあり、交換会の地域での認知、行政機関での認知が進み、一歩踏み込んだサポートも可能になりました。支援機関との連携や橋渡しがスムーズである事は大きな力です。また、今年度は思いを同じくする仲間と共に、日本ダウン症協会発行の子育て手帳「+Happyしあわせのたね」を京都市に500冊寄贈。2022年8月末より、京都市内各はぐくみ窓口から必要とされる方への配布がスタート。“すべさぼ”では、より広く届いていく様にと、関連機関や個人へと積極的にお届けをしています。

今後の展望

今後は、2年間の上京区民まちづくり活動支援事業で得られた関係性や気づきをより深め、地域のピアサポートの場として、引き続き試行錯誤を重ねながら展開させていきます。より日常の中に溶けこむ様な、そのまちの暮らしの中にもいつもある開かれた場にしていきたいと思っています。

At-Kyoto 代表 武田みどり



協力：一般社団法人ライフラボ 小児用補装具専門ゆめ工房
 出水・待賢学区主任児童委員 及び民生児童委員
 POLA THE BEAUTY御所南店/北大路大宮店
 あいあい助産院 左京西部東部いきいき市民活動センター
 後援：上京区社会福祉協議会 デザイン：カズマキカク

ベビー&キッズ用品交換会 1年の振り返り

令和3年度に続き、2年目となったこの取り組み。
アーケードの下を行き交う方々は、世代もそこを通る理由も多様ですが、週に2~3回、北野商店街での交換会は、たまたま偶然の出会い、再会や出会いなおしがたくさん生まれました。
そこには豊かな循環の景色と共に、ありのままの日常の暮らしの景色があり、社会の課題も、多く見える場になってきました。
コロナ禍真っ只中、制限を強いられた暮らしの中のその閉塞感、その解消の一助となればと、ただただ【出会いの場になれたらいい】と思い立ち上げた交換会という場でしたが、その場のあり次第で、誰かにとってのかけがえのない時間となる事を、ひしひしと実感しています。
自分自身の課題について、それぞれと話をすることも増えてきました。
しあわせにありたい、心地よく暮らし、自分らしい生き方をしたい、願いはとてもシンプルなのに、うまくいかない事はたくさんで、それぞれの人生も社会もとても複雑。
誰か1人の問題は、社会の問題。
その大前提でもって、1人1人の声や、その日その日の景色に触れ、出来事に触れ、また来年度へ取り組む姿勢を考えさせられています。
そこに集う1人1人の存在によって成り立っているこの場を、誰が欠けても成り立たないこの場を見つめながら、生きることや暮らすこと、命の循環に思いを馳せた2年間でした。
出会ってくださったみなさまひとりひとりに、力を貸してくださったすべてのみなさまへ心からの敬意と感謝を。

参加費無料
予約・事前登録不要
お気軽にお越し下さい



交換会HP



交換方法

手ぶら もしくは 毎月の「テーマ」(春物・絵本など)に合わせ
安全に持ち運べる量と大きさのものを持って会場へ
↓
必要なものに出会えたら 必要なだけを持ち帰ります
↓
使わなくなったけど、まだ使えるものは
身近な必要とする誰かに譲ったり、また交換会へもってきたり



ご参加についてお願い

- 交換できるもの
次の人が気持ちよく使える状態のもの
目立つ毛玉やシミ、汚れや破れがないもの
ベビー&キッズ用品のほか、マタニティや出産準備用品
- 持ち運びが難しい大型育児用品について
交換会 LINE 公式アカウントへ写真を添えて連絡ください。
例 ベビーベッド、ベビーカー、ベビーサークル、三輪車、室内滑り台など
- 赤ちゃんの安心・安全のためお願い
肌着・下着は新品が新品同様のもの。哺乳瓶・オムツなど、衛生用品については事前にご相談下さい。

参加者の声

久しぶりに身内以外の方と会話が出来ました

LINE 連絡や個別対応がありがたかった

もっとこの取り組みが広がって京都が子育てしやすい町になってほしいと思います

コロナ禍で他の赤ちゃんや家族と出会う機会が限られていましたが、この場を通じて出会う事が出来ました

大切に使用していたものが、新しい場所へ旅立つのが嬉しい

この取り組みは上京区の誇りです

行くだけで、心が回復しました

出会い

仕方なく捨てるか、場所を取るだけだったおさがりが生かされる場があり、ありがたかった

土日にも定期開催してほしいです

受け取ってくれた人の喜ぶ姿を見てしあわせな気持ちになれた

気持ち

こどもが生まれ、その時にしか使えないものがあると知りました

服だけでなく、人の出合いの輪が広がっていくのが嬉しいです

願い

大切にみんなで使っていけたら最高だと思います

色々な団体との共同開催されるといいなあ

こどもは“交換会でもらった服”と喜んで着ています

初めての出産子育て、どれだけ揃えればよいか心配していましたが、この場があって助かりました

プレママさんにこの場の情報が必ず届くようにしてあげて欲しい
ベビー用品は最初に揃えるのが大変
そしてすぐ必要でなくなる

At-Kyoto とは?

世界的ダウン症啓蒙啓発チャリティーウォーキングイベント【パディウォーク®】の開催を軸として、様々な切り口と独自のアプローチで、誰もが安心して暮らせる環境づくりを目指すチーム。パディウォーク@京都をきっかけに繋がったミュージシャン、ダンサー、アーティストなど、多様な仲間とのコラボレーションがAt-Kyotoの特徴であり魅力です。

具体的には、2014年から、秋にパディウォーク@京都、2017年からは、春に世界ダウン症の日(3/21)を記念した企画など、独自のスタイルの啓発交流イベントを継続的に開催。その他、出生前や出産後の早い段階からダウン症のある赤ちゃんを授かったご家族に関わり、その葛藤に伴走することや、出会いを繋ぐ場づくり等のピアサポート。行政や病院、看護学校などへ向け、積極的な情報提供活動も続けています。



At-KyotoHP



お問い合わせ先

LINE公式アカウントからもお問い合わせできます。

☎ 090-5057-5932 (武田みどり)

✉ atkyoto21@gmail.com

月別の交換テーマ

- 4月：春物衣類・おもちゃ
- 5月：春&夏物衣類・絵本
- 6月：夏物衣類・梅雨グッズ (レインコート・長靴など)
- 7月：夏物衣類・夏エンジョイグッズ (水遊びおもちゃ・甚平・浴衣など)
- 8月：夏物衣類・行楽グッズ (レジャーシート・外遊びおもちゃなど)
- 9月：秋物衣類・絵本
- 10月：秋物衣類 ※ハロウィン衣装
- 11月：秋&冬物衣類・おもちゃ
- 12月：冬物衣類・冬小物(帽子・手袋など)
- 1月：冬物衣類・冬小物(帽子・手袋など)
- 2月：冬&春物衣類・おもちゃ
- 3月：春物衣類・絵本

